

前期日程

平成31年度入学試験問題（前期日程）

総合問題

（ 芸術地域デザイン学部
芸術地域デザイン学科
地域デザインコース ）

— 解答上の注意事項 —

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 受験票、筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含む。）、消しゴム、鉛筆削り〕、眼鏡及び時計以外の物は、机に出してはならない。
- 3 問題冊子のほかに解答紙2枚と下書き用紙3枚（白紙1枚と原稿用紙2枚）がある。
- 4 解答は横書きとする。
- 5 解答紙を提出すること。
- 6 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

第1問

この課題文は、ユネスコの世界遺産の説明とその登録基準である。次の英文を読んで、以下の設問1、設問2に答えなさい。

Heritage is our legacy from the past, what we live with today, and what we pass on to future generations. Our cultural and natural heritage are both irreplaceable sources of life and inspiration. Places as unique and diverse as the wilds of East Africa's Serengeti*, the Pyramids of Egypt, the Great Barrier Reef in Australia and the Baroque cathedrals of Latin America make up our world's heritage.

(1) What makes the concept of World Heritage exceptional is its universal application. World Heritage sites* belong to all the peoples of the world, irrespective of the territory on which they are located. To be included on the World Heritage List, sites must be of outstanding universal value and meet at least one out of ten selection criteria.

1. to represent a masterpiece* of human creative genius
2. to exhibit an important interchange of human values, over a span of time or within a cultural area of the world, on developments in architecture or technology, monumental arts, town-planning or landscape design
3. to bear a unique or at least exceptional testimony* to a cultural tradition or to a civilization which is living or which has disappeared
4. to be an outstanding example of a type of building, architectural or technological ensemble or landscape which illustrates (a) significant stage(s) in human history
5. to be an outstanding example of a traditional human settlement, land-use, or sea-use which is representative of a culture (or cultures), or human interaction with

the environment especially when it has become vulnerable* under the impact of irreversible change

6. to be directly or tangibly* associated with events or living traditions, with ideas, or with beliefs, with artistic and literary works of outstanding universal significance. (The Committee* considers that this criterion should preferably be used in conjunction with other criteria)

7. to contain superlative* natural phenomena or areas of exceptional natural beauty and aesthetic importance

8. to be outstanding examples representing major stages of earth's history, including the record of life, significant on-going geological processes in the development of landforms, or significant geomorphic* or physiographic* features

9. to be outstanding examples representing significant on-going ecological and biological processes in the evolution and development of terrestrial*, fresh water, coastal and marine ecosystems and communities of plants and animals

10. to contain the most important and significant natural habitats for in-situ* conservation of biological diversity, including those containing threatened species of outstanding universal value from the point of view of science or conservation.

(出典： <https://whc.unesco.org/en/about/>, <https://whc.unesco.org/en/criteria/>)

* Serengeti: アフリカ・タンザニアの多様な動物が生息する自然公園 * sites: 遺産の場所

* masterpiece: 傑作 * testimony: 証拠 * vulnerable: 存続が危ぶまれる

* tangibly: 実質的に * The Committee: ユネスコの組織である世界遺産委員会

* superlative: 最上級の * geomorphic: 地形学的 * physiographic: 自然地理学的

* terrestrial: 陸上の * in-situ: 本来の場所で

設問 1 下線部（1）を日本語に訳しなさい。

設問 2 課題文を踏まえたうえで、あなたの住む地域あるいは訪れた地域で、未来に遺産として残していきたいと思う場所（建物を含む）について説明しなさい（実際に世界遺産に登録されるかどうかを問うものではありません）。あわせて、その価値・意義について、課題文の 10 の基準のうち少なくとも 1 つと関連づけ、その基準番号を明示しながら、論じなさい。（400 字以内）

第2問

城跡の修理や建物復元に関わった者からの聞き取りの記事である次の文章を読んで、設問1、設問2に答えなさい。

遺跡は地下の構造物の痕跡も含めて現状保存するのが鉄則ですから、極端に言うとなんか「何も触るな」ということには間違いはないんです。ところが城跡は石垣や門が残っているので、壊れたり傾いたりすると直さなくてははいけません。修理してみると、例えば、石垣であれば、どうも表にあるのは明治期に造った石垣で、中にもう少し古い石垣があることがわかってくる。そうすると、当初の石垣を復元的に整備しようとなって、まあ、石垣までだったらいいだろうという判断があったりする。

しかし、(1) ああいう大きな土木構築物は、実はいつも修理修繕して使われていたんです。それでないと維持できない。そうすると、僕にとっては、維持するための修理修繕と遺跡の現状保存との折り合いをどこでつけるかが悩みの種でした。こわれゆく史跡の現状維持というのは非常に難しいんです。

一方、城跡の建物の復元を検討するとき、地元の人たちから天守閣を再建したいという声を聞きます。それで、なぜ、その人たちはお金を集めてまで天守閣が欲しいのか聞くと、やっぱり町のシンボルだって言うわけです。僕は一生懸命、石垣だって立派なものだし、天守閣がなくても城は成り立つんだと言うわけだけど、そういう気持ちは分からないわけでもないんです。

小田原城を復元するときにつくづく思ったのは、あれは総構えを持っていて、すごく中世的な城だということです。中世*は戦争ばかりやっている時代なので、いざ戦争という時には領民がその中に逃げてきて一定期間預かるような、そういう領民と城主とのある種の契約関係みたいなものがあったわけです。そうい

う関係は、ひよっとすると、現在のお城と地域住民の間にも綿々につながっているかもしれないなと思ったりもしました。

だから、(2) どの辺までが現状を維持するという定義に当てはまる整備なのかという話と、そこに住んでいる人たちの城に対する愛着と、この二つの観点で城の整備はいつも動くんです。

(出典： 『遺跡学の宇宙』 日本遺跡学会、2014年より引用、一部改変)

* 総構え： 城の中心部だけでなく、城下町一帯も含めて外周を堀や盛土した壁（土塁）、石垣で囲い込んだ、日本の城の構造。

* 中世： 研究者によって定義は異なるが、おおよそ平安時代末～戦国時代。

設問1 下線部(1)を文章にある事例を使いながら、説明しなさい。(200字以内)

設問2 下線部(2)の2つの観点を説明した上で、城跡を将来に継承するとともに、活かしていくためには、どのように整備していけばよいか、あなたの考えを論じなさい。(400字以内)